

通級指導教室
発達障がいに関する情報



《町の通級指導教室》

子どもの特徴を正しく理解しましょう。たくさんの可能性を伸ばすために、ひとりで悩まないでください。

☎ 学校教育課指導係 522

《発達障がいの情報》

政府広報オンライン「発達障がいって、何だろう?」

📄 <http://www.gov-online.go.jp/featured/201104/index.html>

現在小学校の通常学級に在籍し、発達障がいや情緒障がい等のため、学習に支障をきたしていたり、集団生活がうまくいかなかったりする児童に対して、その児童に応じた個別の支援を行います。

■ 学習障がい（LD）
「読む」「書く」「計算する」等の能力のうち、特定のものの習得と活用に著しい困難を示す。

通常学級に在籍しながら、特定の時間に、一人ひとりの児童の教育的ニーズに応じて個別の指導・支援を行います。

■ 注意欠陥多動性障がい（ADHD）
集中することが苦手
じっとしていることが苦手
考える前に行動してしまう

お子さんの発達について悩んでいる保護者の人はまずは担任の先生に相談してください。

発達障がいや情緒障がいって？

例えば：
■ 広汎性発達障がい
コミュニケーションが苦手
人との関係づくりが苦手
パターン化した行動をとる

入級すると、どのような支援が受けられるの？

普通は通常学級に通いながら特定の時間に、一人ひとりの児童の教育的ニーズに応じて個別の指導・支援を行います。

通級指導教室って？

お子さんの発達について悩んでいる保護者の人はまずは担任の先生に相談してください。

お父さん、お母さん、
お子さんのことで悩んでいませんか？

お友達と仲良くできない

先生の話をきちんと聞けない

片付けや集中することが苦手

言葉のおくれがある

ひよつとしたら「発達障がい」かもしれない

竹間沢小に通級指導教室が開設されて3年目...

今回は障がいのある児童が

集団の中で楽しく過ごせるよう、

みなさんに理解してもらいたいこと、

そして通級指導教室についてご紹介します

発達障がい・情緒障がいのある
児童のための通級指導教室

教育だより
問い合わせ
学校教育課 ☎ 522



おざき よしこ
小篠 由子
竹間沢小学校 通級指導教室担当

子どもの気持ちに
寄り添う指導を

「子どもと接する上で一番心がけていることは子どもの気持ちに寄り添うことです。通級指導教室に通う児童は自分の気持ちがうまく表せないことが多いので、得意なことを認めてあげること、受け入れる気持ちをもって話を聞くことが大事だと思います。」と話してくれたのは担当教諭の小篠先生。

町内初の通級指導教室ということで、開設当時は教室作り、教材、指導内容などすべてを一から考えなければならず、試行錯誤の毎日だったそうです。

「思っようにいかない時もたくさんあります。けれど、教室に通いだした当初は座っていることができなかった児童が、今は週に1回の指導教室を心待ちにしていると母さんから聞いたりすると、現状に満足せず、より良い指導方法を考えようという気持ちが強くなりますね。」

そんな小篠先生に児童との関わりで特に印象に残った出来事はありますかと聞いてみると

「特別一人の児童が印象に残っているという事はないです。やはりそれぞれの児童の成長を感じられる瞬間がたまらなく嬉しいですね。」と優しい笑顔で話してくれました。

工夫を凝らした授業を児童に
竹間沢小学校通級指導教室のご紹介



保護者の控え室

通級指導教室では、保護者の人に送迎をお願いします。右上の窓はマジックミラーになっていて、授業を受ける児童の様子を見ることができます。



授業課題の一例

一見ただの遊びのような内容でも、それぞれに深い意味があります。

教室の展示物

視覚でも児童に楽しんでもらえるよう工夫されています。

授業で使用する教材は、授業中、準備に手間取り、児童の集中力が切れないように、事前にケースにまとめておきます。